

世田谷区立瀬田小学校
学校関係者評価委員会 様

世田谷区立瀬田小学校
校長 日高 玲子

自己評価報告書

梅花の候、皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校の令和元年度の教育活動に関する自己評価報告書を提出いたします。御高覧を賜り、御指導・御助言をいただければ幸いです。

なお、本報告書は、世田谷区教育委員会平成20年度版「世田谷区立学校 学校評価システム」に基づいて作成しています。

1 学校概要

- (1) 学校長名 日高 玲子
- (2) 学級数 25 学級
- (3) 児童数 800 名 (令和5年3月1日現在)

2 本校の目標及び計画

(1) 教育目標

人間尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたり自己を高める児童の生きる力の育成を目指す。

- 思いやりのある子 …… 自他を敬愛し、人の喜びや悲しみに共感できる子ども
- よく考える子 …… 確かな学力を身に付け、深く考え、正しく判断し、表現できる子ども
- 進んでする子 …… 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、自ら進んで学ぶ子ども
- 元気な子 …… 生命を大切にし、進んで心と体を鍛える子ども

(2) 教育目標及び重点目標を達成するための基本方針

- 社会の中でよりよく生きてくための能力を育むキャリア教育の充実
- 課題解決的な学習の展開（せたがや探究的な学び）に向けた授業改善
- 教育活動全体を通じた人権尊重の精神に基づく人権教育の推進
- 個性や能力、発達特性等の多様性を理解し、個々の教育的ニーズに応じた教育の充実
- 生涯の学びを支える非認知能力の育成
- 不登校の未然防止や多様な学びの機会の提供
- いじめの予防や早期発見・対応、解決に向けた対応

(3) 中期的な学校経営方針

- 地域とともに子どもを育てる教育
学校運営委員会や学校支援地域本部を中核にして、学校目標を保護者や地域と共有しながら学校教育を進めていく。
- これからの社会を生き抜く力の育成
社会の状況を幅広く視野に入れ、社会に開かれた教育課程を推進するために、学校教育活動全体を通して国語力の向上を図り、「ことばの力」の育成に取り組む。

(4) 今年度の重点目標

- 重点目標1 他者を思いやりながら、自身の自尊感情や自己肯定感を高める児童の育成
 - 数値による指標
他者の考えや気持ちを受入れ、思いやることができることを実践できる児童の割合75%以上
 - 具現化のために方策等
 - ・ 『おもいやり5か条』については、学校関係者評価で良好な結果を得ており、実践をしていく土壌ができています。校内研究での組織の一つとして学級経営部を創設し、学級経営に

関わる実践を行う。

- ・なかよし班での縦割り活動によって、活動する楽しさを体感させ、学年問わず仲良く助け合う態度を育成する。
- ・学校関係者評価にて評価及び検証を行う。

重点目標2 学び合い、高め合う児童の育成

○ 数値による指標

「友達と意見を交換したり、考えを聞いたりすることで、自分の考えを広げることができている」と感じている児童の割合 80%以上

○ 具現化のために方策等

- ・校内研究の取組として、支持的学級風土の醸成のもと、授業実践により思いやりの心を育み、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業の工夫を行っていく。
- ・一人一台学習端末の有効活用や少人数での話し合いを授業に取り入れ、対話的な学びが生まれる授業の工夫を行っていく。
- ・学校関係者評価にて評価及び検証を行う。

重点目標3 体育授業や外遊びを通して、体力を養う児童の育成

○ 数値による指標

「体力が伸びている」と感じている児童と保護者の割合 75%以上

○ 具現化のために方策等

- ・児童を対象にした学校関係者評価では「体育の授業や休み時間での活動を通して、私は体力が伸びている」が低かったことから、オリンピック・パラリンピック教育を継続し、スポーツの魅力や運動する楽しさを実感させる。また、体育や休み時間を活用し、体力づくりへの意欲を高めていく。
- ・学校全体での体育的活動の取組として、縄とびや中休みのダンスなど場所を取らずに取り組める、体力づくりの意欲を高める。
- ・学校関係者評価にて評価及び検証を行う。

3 重点目標の評価

〔以下、表での数字は、肯定的な回答である「A」「B」の割合である。
また、()内は令和4年度の肯定的な回答の割合である〕

(1) 自尊感情や自己肯定感を高め、思いやりのある児童の育成

[児童]

私は、学校のきまりを守って、行動している。	81.5(88.5)%
先生に注意されたことは、理解できる。	82.9(90.6)%
ものを大事にして、整理ができています。	83.4(84.1)%
命を大切に、安全に気を付けて生活している。	94.2(92.3)%
やさしい心で、相手の気持ちを考えて生活している。	86.7(85.8)%
「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言うことができる。	90.3(90.2)%
自分自身を大切にしている。	82.6(79.7)%

[保護者]

本校は学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	69.5(72.0)%
本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	72.5(79.6)%

[地域]

本校の子供たちは、返事やあいさつができる。	66.7(73.4)%
-----------------------	-------------

児童の評価では、3項目において、前年比より減少した。また、保護者の評価として全ての項目で減少している。「学校での過ごし方」「ルール」について、生活指導や道徳の授業等を大切に、取組を保護者や地域に周知する必要がある。「あいさつ」については、教職員にだけでな

く知っている方やお客様へのあいさつを徹底することを、今後も取り組んでいく必要がある。

(2) 学び合い、高め合う児童の育成

[児童]

授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	95.3(96.2)%
先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	85.9(94.5)%

今年度の研究主題は「主体的に学ぶ子～一人一人のよさを生かす授業の創造を通して～」である。本研究では、全ての教科において「対話的な学び」が生まれる課題や環境を授業の中で意図的に設定し、児童の「聞く力」「学びに向かう力」「伝える力」を高めていくことで、児童一人一人の「学びの深まり」を目指している。他者との関わり、触れ合いを通して多様な価値観や、新しいものの見方や考え方を獲得していく学びを次年度以降も積極的に行っていきたい。

「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。」では9割、「先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。」では8割を超えているものの昨年度を下回っている。どの学級においても対話が生まれる授業展開が、児童一人一人の思考を深めることに一定の役割を果たしていることを児童自身が実感できるよう取組を継続していく。

次年度も学習指導の素地となる支持的学級風土の醸成を目指し、校内研究や日々のOJTを通して、学級経営の改善・向上を図っていく。

(3) 体育授業や外遊びを通して、体力を養う児童の育成

[保護者]

子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	40.7(50.4)%
---------------------------	-------------

子供の体力向上は喫緊の重要課題である。教職員も十分理解して指導を行ってきている。しかし、今年度は、校舎改築工事の最中、校庭のない仮校舎での学校生活が2年目となった。子供たちの体力低下に大きな影響を与えている。週2時間の体育の授業の授業、休み時間の様子からは、子供の体力や運動能力は想像以上に憂慮する状況である。3学期からは、学び舎である瀬田中学校の校庭を朝遊びでも借用できることになったので、児童の体力向上について、体育の授業改善とともに、継続的にみていきたい。また、休み時間のルールの見直しと指導の徹底、運動・遊びの指導と習慣付けのための指導、保護者・地域と協働した取組等の具体策を講じて、児童の育成を図る。

4 地域とともに子どもを育てる教育の評価

(1) 保護者・地域連携等

[保護者]

本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている。	70.6(70.4)%
本校は、地域の活動などに協力的である。	79.9(73.1)%
本校は、地域に情報を提供している。	79.9(56.0)%
私は、学校公開にすすんで参加している。	91.1(91.5)%
私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している。	69.5(64.2)%
私は、今年度の学校重点目標を理解している。	52.2(44.4)%
「多摩川の学び舎」の瀬田中学校について、連携や交流活動が行われている。	48.7(46.0)%

[地域]

地域の人や施設を教育活動に活かしている。	80.0(66.7)%
学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	43.3(53.4)%
学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	66.6(80.0)%

今年度は、1学期から学校公開を実施し、人数制限をかけずに実施したところ、予想を上回る参加数であった。学校公開日、瀬田スポーツフェスティバルなどの行事については、見守りや運営の準備等でお力をいただいた。また、おやじの会主催のサマーキャンプや地域主催の伝統文化体験（餅つき）、教育活動サポート機構主催の漢字検定も実施していただいた。保護者の「地域の人や施設を活用している」、「地域の活動に積極的である」の2項目は、昨年度を上回っている。

また、「学校公開に進んで参加している」の項目が昨年度をやや下回ったものの9割に至っており、本校の教育活動に、関心を寄せてくださっているのが明らかとなった。

「地域に情報を提供している」、「今年度の学校重点目標を理解している」、「瀬田中学校について、連携や交流活動が行われている」の3項目についても、昨年度を大きく上回る結果となり、本校の教育活動に関心を寄せてくださっていることが分かった。

今年度は、70周年行事を周年行事委員会と連携し、無事に終了することができた。今後も地域との交流活動をより充実させ、教育活動に生かしていきたい。

(2) 広報活動・情報提供

[保護者]

本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。	80.4(86.9)%
本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	90.0(83.5)%
本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	71.3(76.0)%
本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	73.5(68.1)%
「多摩川の学び舎」の活動について、情報が提供されている。	53.1(44.7)%

[地域]

学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	86.7(80.0)%
学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	60.0(40.0)%
学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	86.7(73.4)%
「多摩川の学び舎」の活動について、情報が提供されている。	60.0(40.0)%

今年度は、学校行事・学校公開を保護者や地域の方々の参観に制限をかけず実施した。「学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる」は、8割の好意的な評価であるものの昨年度を下回った。一方でホームページについては、年度の評価を下回っている。ホームページの更新や緊急連絡メール等の有効活用ができていない結果であると厳しく受け止めている。緊急連絡メールの活用とともに保護者に対する適切な情報提供を行う必要がある。「学び舎」の活動については、昨年度から瀬田中学校、二子玉川小学校との積極的な交流に加え、近隣の保育園・幼稚園との連携も始まっている。今後も活動の充実、児童・生徒の状況共有とともに、保護者・地域への情報提供を図っていく。

5 未来を担う子どもを育てる教育の評価

(1) 教育課程

[児童]

先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	83.3(90.1)%
先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	89.8(97.8)%
自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	72.7(82.5)%
目標をもち、その実現に向けて努力している。	83.9(86.3)%
区立中学校に関する情報が提供されている。	48.9(46.7)%
学校行事は、楽しい。	87.8(91.7)%
学校行事は、達成感がある。	84.8(82.4)%
先生は、児童の意欲を大切にしている。	78.9(86.3)%

[保護者]

本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行なっている。	74.7(77.9)%
本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	62.1(66.1)%
本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	80.6(79.3)%
本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	73.3(75.0)%
本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	50.7(64.1)%
本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	40.2(49.6)%
学校行事は、子どもにとって楽しい。	94.0(95.1)%
学校行事は、子どもにとって達成感がある。	90.5(89.8)%
本校は、子どもの意欲を大切にしている。	79.8(82.2)%

[地域]

学校行事の内容は充実している。	93.4(86.6)%
事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	86.7(80.0)%

児童に対するアンケートでは、肯定的な回答の割合せはあるものの6項目において昨年度を下回った。「学校行事は、達成感がある」は、わずかに昨年度を上回っているが、2学期の行事が目白押しで、特に高学年は、落ち着いて学習に取り組む余裕がなかったことが読み取れる。学校全体でOJT研修を実施することで、授業改善を積み重ね、また学校行事の見直しを行う必要がある。しかし、保護者に対するアンケートでも、6項目が昨年度を下回り、学校に対する信頼度が低下していることを示している。地域に対するアンケート結果は、2項目とも昨年度を上回ってはいるが、保護者と同様、適切な情報の発信が課題である。

6 信頼と誇りのもてる学校づくりの評価

(1) 学校経営・学校運営

[児童]

先生たちは、ていねいに指導してくれる。	85.2(94.5)%
学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	84.9(87.9)%
先生たちに、相談できる。	71.7(74.8)%

[保護者]

本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。	73.5(68.1)%
校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	80.8(77.9)%

[地域]

学校の重点目標が明確である。	73.3(73.4)%
地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	60.0(73.3)%

「学校のきまりを守らない児童に先生は注意している」「先生たちに、相談できる」が昨年度より3パーセントほど下回っている。決まりを守ることに決意して毅然と指導する姿勢も望んでいることが読み取れる。真摯に受けとめ、様々な悩みや事情を抱えた児童、保護者に寄り添いながら、丁寧な関りを継続していく。大人に安心して相談できる環境づくりにさらに努める必要がある。保護者の「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている。」「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる」は、昨年度を上回っている一方で、地域への重点目標の理解が未だ低い。学校便りやホームページなどで周知の他、地域行事への協力、連携に努め、学校教育活動との協働を果たしていく。

7 教育環境の整備の評価

(1) 学校経営・学校運営

[保護者]

本校は、避難訓練やセーフティー教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	83.6(90.5)%
本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	74.1(66.8)%
本校は、安全な学校づくりを進めている。	73.3(79.3)%

[地域]

学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	86.7(80.0)%
学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	86.7(66.6)%

「本校は、避難訓練やセーフティー教室などで、子どもに安全に関する指導をしている」「本校は、安全な学校づくりを進めている」の項目は、昨年度を下回っている。避難訓練やセーフティー教室などの子どもに安全に関する指導については、実施内容を学校だよりやホームページ等で折に触れ、説明する必要がある。また、校舎改築中の子供たちの安全の確保に引き続き努めていく。学び舎である瀬田中学校と連携し、実践的な訓練も検討していく。

8 その他

(1) 学校全般

[児童]

学校生活は楽しい。	85.8(87.9)%
学校が好き。	77.9(79.7)%
私は、家庭で宿題やeラーニングでの学習をしている。	71.0(73.1)%
私は、塾で学習している。	72.3(70.3)%
「多摩川の学び舎」の瀬田中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある。	52.3(59.4)%

[保護者]

本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	83.8(84.5)%
本校は、ていねいに指導している。	80.0(80.6)%
本校の教育活動に満足している。	68.3(73.7)%
本校は、子どものことを相談しやすい。	69.7(73.4)%
子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	64.9(64.5)%

「学校生活は楽しい」「学校が好き」が昨年度を下回った。児童にとっての学校が楽しく、居心地のよい生活となるために最大の努力をしていく。同じように保護者からの回答も全ての項目を下回っている。本校の教育活動に満足している保護者は、昨年度に比べ数値の減少が見られる。8割以上を目指し、学校の様子をホームページや学校だよりから発信していく。

「子どものことを相談しやすい」は、8割以上を目指し組織的な教育相談支援体制の充実とスクールカウンセラーの活用を更に活発にしていきたい。

(2) 独自項目

[児童]

自分からすすんで「おはようございます」が言える。	85.3(80.3)%
--------------------------	-------------

[保護者]

自分の子どもは、返事やあいさつができるようになってきている。	89.7(76.0)%
自分の子供は、相手の気持ちを考えて行動している。	77.5(85.8)%
本校では、子供たちが授業に集中して生き生きと学んでいる。	80.1(70.7)%

[地域]

本校の子どもたちは、返事やあいさつができる。	66.7(73.3)%
本校では、子供たちが授業に集中して生き生きと学んでいる。	80.0(70.7)%
本校の児童は、地域行事や地域の人とのかかわりを大切にしている。	89.4(-)%

「あいさつ」の項目については、児童、保護者ともに昨年度を上回っている。学校、学級におけるあいさつ指導や代表委員の活動、瀬田中学校と連携した挨拶運動の取組を更に進め、9割以上を目指していく。一方、地域においては、あいさつの項目が昨年度を下回っている。授業の様子や地域行事での児童の様子では、肯定的な回答が昨年度から上昇した。地域へ本校の取組をさらに発信していくとともに、児童と地域をつなげる活動を重視していく。

令和4年度より学校評価アンケートを紙から電子に切り替えて実施していますが、今年度、保護者のアンケート回収率が21%と極めて低い結果となったことを重く受け止めています。

次年度は、アンケートの実施・回収について、学校だよりやすぐーるでお知らせするとともに、リマインドを複数回行うなど、回数率の向上に努め、児童・保護者・地域の皆様の声を本校の教育活動の改善に活かしてまいります。